

## 地域間交流研究 I .

### 1. テーマ

信越県境地域の地域づくりに向けた人材育成プラットフォームの構築に関する研究  
(新潟県上越・十日町・魚沼地域の一部、長野県北信地方の一部)

### 2. 代表者・共同研究者・協力者（および組織）

研究代表者 内海 巖  
(上越市役所 上越市創造行政研究所・主任研究員)

共同申請者 木村 宏  
(北海道大学 観光学高等研究センター・研究員)  
※ H27.8 まで一般社団法人信州いいやま観光局・  
観光交流センター・所長

井口 智裕  
(一般社団法人雪国観光圏・代表理事)

瀧本 幸次  
(上越市役所 上越市創造行政研究所・次長)

### 3. 期間

2015 年 6 月から 2016 年 3 月まで

### 4. 目的

信越県境地域の地域課題に関する研究会を試行的に実施するとともに、シンポジウムを開催し、広域連携による地域づくりの可能性や人材発掘・育成に貢献するプラットフォームの在り方等について検討する。

### 5. 実績概要

信越県境地域の地域課題に関する研究会を試行的に実施するとともに、シンポジウムを開催し、広域連携による地域づくりの可能性や人材発掘・育成に貢献するプラットフォームの在り方等について検討する。

### 6. 今後の展開

本交流会の参加者からは概ね好評であり、当初想定していた会の獲得目標についても概ね達成できたと考えられる。なお、本交流会のより詳細な記録については、来年度作成予定である。

来年度以降も継続した取組が必要と考えているが、

会の理念や基本構成は継続しつつも、議論するテーマについては一部進化させる必要がある。また、企画運営体制については見直しが必要であり、開催地域・時期等についても今後検討を要する。

### 7. 実施状況

名称：信越県境地域づくり交流会 2016

日時：平成 28 年 2 月 16 日（火）13:30～17 日（水）11:30

場所：ユートピアくびき希望館、うみてらす名立（新潟県上越市）

概要：1 日目は、開催趣旨説明の後、地域資源、グリーンツーリズム、ライフスタイル、観光組織経営の 4 テーマについてトークセッションを実施した。2 日目は 1 日目の振り返りと信越県境付近の連携の可能性を探るディスカッションを実施した。

参加状況：（機関数 76、参加人数 153、述べ人数 153）

### 8. その他実績

（フォーラム分科会発表）

2015 年度越境地域政策研究フォーラム（愛知大学三遠南信地域連携研究センター主催）、信越県境地域の地域づくりに向けた人材育成プラットフォームの構築に関する研究、内海巖、2016 年 2 月 27 日（記録）

ニュースレター「創造行政」No.34（上越市創造行政研究所発行）p.5-7、信越県境地域づくり交流会 2016 報告、内海巖、2016 年 3 月 31 日

全体の参加状況

区分	機関数	受入人数			延べ人数		
		外国人	若手研究者	大学院生	外国人	若手研究者	大学院生
学内(代表者法人内)	1	5			12		
国立大学	2	2		1	2		1
公立大学							
私立大学	1	2			2		
大学共同利用機関法人							
公的研究機関							
民間機関	47	63			73		
外国機関							
その他	25	81			82		
計	76	153 (37)		1	171 (37)		1

※ 延べ人数には企画会議 4 回分を含む